



夢や憧れを仕事にする

好き！を仕事にした女性たち



「お洒落の旅人」 大内順子著
世界文化社 2014年

大学生のころからモデルを始め、在学中に結婚、大学卒業と同時にモデルも辞めてファッション・ライターの道へ。海外で大きな交通事故に遭い視力を失うも、子育てをしながら日本初のファッション・ジャーナリストへ！

世界のファッションを日本に紹介続けた大内順子さんの自伝。



「ニキとヨーコ」
下町の女将からニキ・ド・サンファルのコレクターへ
黒岩有希著 NHK出版 2015年

青春時代を戦争と共に過ごし、好きになった男性との駆け落ち、家業である日本料理屋の女将を経て芸術家ニキ・ド・サンファルのコレクター「ヨーコ」となった増田静江さん。

一枚の版画との運命的な出会いからニキの美術館を日本に建てた“下町生まれの向こう見ず”な女性の生涯。



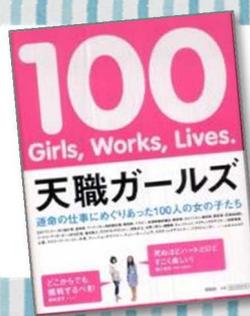
「五十歳からの挑戦 五十歳から撮影をはじめた女性写真家のサクセスストーリー」
甘楽美登利著 グラフ社 2005年

50歳ではじめた写真店でのアルバイト。そこから「そうだ学校へ行こう」と写真の学校へ。花の写真をポストカードにしてお店へ自ら売り込み、個展を開き、写真集を出し・・・まさにサクセスストーリー。好きなことを始めるのに年齢は関係ない。



「女職人になる」 鈴木裕子著
アスペクト 2005年

かつては男社会だった職人の世界も、女性に門戸が開かれつつある。「この先、職人の世界をささえていくのは女性じゃないかと思うんです。」とは、女性職人の師匠の方々の共通意見。「自分の人生、思うように生きたい」と考えるすべての女性に読んでいただきたい本です。





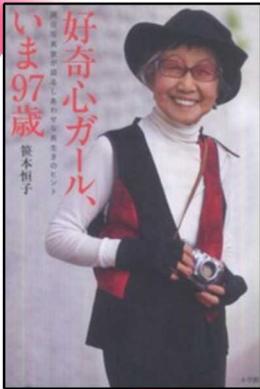
『九十歳。何がめでたい』
 佐藤愛子:著
 小学館 2016年

誰が書いたのかわからない言葉がまん延するこの世の中に、作家・佐藤愛子さんの言葉はずしりと心に乗っかってきます。社会に対する“怒り”を“ユーモア”で返す。大正12年生まれ作家の言葉の重みを感じ

つつ、笑いながら読んでしまう28編の、珠玉のエッセイ。

『好奇心ガール、いま97歳』
 笹本恒子:著
 小学館 2011年

著者は1914(大正3)年生まれ。日本初の女性報道写真家で、2016年10月には、102歳で写真界のアカデミー賞といわれる米ルーシー賞を受賞。自立心を持って厳しい時代を生き抜いた女性などをテーマに、写真を撮り続けています。



充実した生き方の『参考書』
 ～自分らしく生きる女性からのメッセージ～

『これからを生きるあなたに伝えたいこと』
 美輪明宏・瀬戸内寂聴:著
 マガジンハウス 2016年

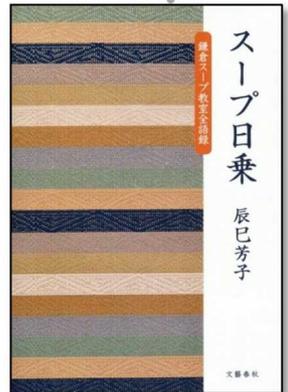
長崎県美術館での「戦後七十年、被爆七十年—瀬戸内寂聴展」の記念事業での対談。ちょっと不思議なお話から、女性の美しさ、老いについてまで、2人のお話を間近で聞いているような気持ちになれます。



『スープ日乗 鎌倉スープ教室全語録』
 辰巳芳子:著
 文藝春秋 2016年

2016年1月で20周年を迎えた随筆家・料理家である辰巳芳子さんの鎌倉スープ教室。入会希望者は増え続け、今では入会するのに10年待ちの方もいらっしゃるほど。そんな人気教室での辰巳さんの言葉を記録した講義録。

スープの作り方を通して語られる人生哲学をご堪能ください。



『女性ホルモンの教科書 ーわたしのカラダは、私が守る』
 黒住沙織・佐田節子:著
 日経BP社 2016年

「決して快適ではないけれど、我慢できるし……」「毎月のことだけれど、みんなもこんなもの shouldn't it?」そんなふうに思って放置している人が多いようですが、それもこれもホルモンバランスが乱れたせいかもしれません。女性ホルモントラブルを、上手に回避しましょう。



さんかく☆ミニ講座

男女共同参画に関する、ことばや数字を紹介するコーナーです♪

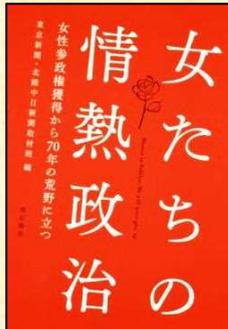
なんの数字？

52

全国フェミニスト議員連盟が東京都市区を中心とした自治体議会の女性議員に対して実施した「性差別体験アンケート」に回答を寄せた女性議員のうち、性に基づく嫌がらせや不快な言動を受けた経験のある割合は52%に及んだ。相手の83.8%は男性だが、女性からの事例もある。議員を選ぶ市民にも、議会における性差別を監視し抑止する力となることが求められる。

(月刊「We learn (ウィラーン)」より)

*** こんな資料もあります ***



雑誌「女性展望」1・2月号特集：女性参政70周年記念事業 in 関西 (嘉田由紀子、越直美ほか)

新刊が入りました♪



…ほかにも、新刊コーナーで展示中!

2月のG-NETシネマ



「ペイ・フォワード」 監督:ミミ・レダー
2000年 アメリカ 124分 吹き替え

11歳の少年トレバーが「世界を変える」ために考えた「ペイ・フォワード」。それは他人から受けた厚意を周りにいる別の人へと贈っていくアイデアのこと。やがてこのアイデアが、心に傷を負った大人たちの心を癒していく…。

2月24日(金) 13:30~

会場:滋賀県立男女共同参画センター(G-NETしが)
参加無料&申込不要

図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9:00~17:00
- 2月の休室日 6日 13日、20日、27日
- 貸出 (本・雑誌) 15冊 3週間まで (ビデオ) 2本 1週間まで
- お問い合わせ先 (電話)
0748-37-3735 (図書・資料室直通)
0748-37-3751 (センター代表)
- ☆県内在住・在勤・在学の方は、どなたでもご利用いただけます。



♪ひとこと

陰暦2月は「如月(きさらぎ)」。その語源は、衣をさらに重ね着ることと思われるようですが、本当は草木の生える「生更ぎ」を意味するそうです。【『広辞苑』より】
弾み返す薄き板橋の踏みごたへ楽しみ渡る梅の林へ (河野裕子歌集『歩く』)
寒い季節ですが、春を見つけに歩くのもいいですね。



男女共同参画センター

★2016年ベストリーダー★

2016年1月5日～2016年12月27日の1年間に多く読まれた本をご紹介します。

一般図書部門



「長いお別れ」中島京子：著
文藝春秋 2015年

東昇平はかつて都立高校の校長や公立図書館の館長をつとめたが、十年ほど前から認知症を患っている。物忘れ、記憶の交差、ゆっくりと進んでいく症状。認知症の父と家族のあたたかくて、切ない十年の日々。第10回中央公論文芸賞・第5回日本医療小説大賞受賞作品。

『長いお別れ』
中島京子：著

『一〇三歳になってわかったこと
人生は一人でも面白い』
篠田桃紅：著

『3時のアッコちゃん』
柚木麻子：著

『わりなき恋』
岸恵子：著

『コミックでわかる アドラー心理学』
向後千春：監修 ナナトエリ：作画



「一〇三歳になってわかったこと
人生は一人でも面白い」
篠田桃紅：著 幻冬舎 2015年

100歳を過ぎてなお、表現活動を続ける美術家・篠田桃紅さんの生き方の指南書。壁画、レリーフ、リトグラフ、装丁、題字、随筆、多岐にわたる創作活動の根源に触れられる1冊。大きな文字で完結にまとめられているので読み易いです。

行政・視聴覚 資料部門

『ドメスティック・バイオレンス2
より良い援助のために』(VHS)
東京ウィメンズプラザ/桜映画社

『職場の人権 相手のきもちを考える』
(DVD)
東映株式会社 教育映像部

『とよなか女性防災ノート』(行政)
「とよなか女性防災プロジェクト」検討委員会/
財団法人とよなか男女共同参画推進財団

『男女共同参画・多様性配慮の視点で学ぶ
防災ワークブック』(行政)
減災と男女共同参画研修推進センター



絵本・ 児童書部門

『ウルトラマン
ひとりでおでかけだいぼうけん』
きむらゆういち:さく にしうちとしお:え

『うちのパパは
ウルトラマン』
きむらゆういち:さく にしうちとしお:え

『ママがおばけになっちゃった!』
のぶみ:さく



さんかく☆ミニ講座

男女共同参画に関する、ことばや数字を紹介するコーナーです♪

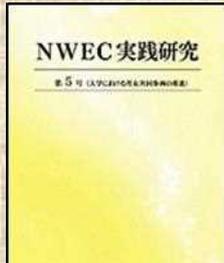
なんの数字？

47.4

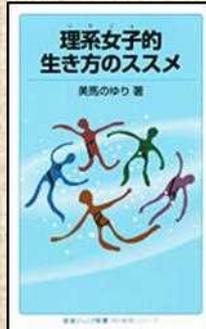
2015年度、日本における女子の大学(学部)進学率は47.4%でした。OECD(経済協力開発機構)の調査では、調査国中、最下位に近い結果となり、人文科学、薬学・看護学、教育学等の学部で女子学生割合が高く、理学・工学系では低いという、専攻分野による偏りも見られました。

(月刊「We learn (ウィラーン)」より)

*** こんな資料もあります ***



5号:大学における男女共同参画の推進



2月のG-NETシネマ



「ペイ・フォワード」 監督:ミミ・レター
2000年 アメリカ 124分 吹き替え

11歳の少年トレバーが「世界を変える」ために考えた「ペイ・フォワード」。それは他人から受けた厚意を周りにいる別の人へと贈っていくアイデアのこと。やがてこのアイデアが、心に傷を負った大人たちの心を癒していく…。

2月24日(金) 13:30~
会場:滋賀県立男女共同参画センター(G-NETしが)
参加無料&申込不要

2月4日(土) 講演会
国谷裕子さん(キャスター)

しがの女性活躍応援フォーラム

日時 2017年 2月4日(土)
10:00~12:00 (受付開始 9:30)

場所 県立男女共同参画センター 大ホール
近江八幡市鹿町80-4

基調講演

「女性が活躍する社会に向けて
~私が伝えてきたこと、
いま伝えたいこと~」

講師 国谷 裕子氏(キャスター)



お問い合わせは、滋賀県女性活躍推進課
電話 077-528-3770 まで

男女共同参画センターには、
女性活躍応援の図書、あります!

図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9:00~17:00
- 1月の休室日 1日~4日、10日、16日、23日、30日
- 貸出 (本・雑誌) 15冊 3週間まで (ビデオ) 2本 1週間まで
- お問い合わせ先(電話)
0748-37-3735 (図書・資料室直通)
0748-37-3751 (センター代表)
- ☆県内在住・在勤・在学の方は、どなたでもご利用いただけます。



♪ひとこと

明けましておめでとうございます。
男女共同参画の考え方がますます広がっていくように、この「図書・資料室だより」に新コーナーを設けました。心新たに、資料の収集・発信につとめ、みなさまのお役に立てる図書・資料室を作りたいと思います。



男女共同参画の視点からおすすめの

女性の視点で、家族のあり方や女性の働き方を描いた作品などを選んでみました。

2016年 各賞受賞・受賞者関連の書籍

2016年本屋大賞



「羊と鋼の森」宮下奈都
2015年 文藝春秋

ピアノの調律に魅せられた一人の青年。彼が調律師として、人として成長する姿を温かく静謐な筆致で綴った、祝福に満ちた長編小説。

第154回芥川賞



「異類婚姻譚」本谷有希子
2016年 講談社

子供もなく職にも就かず、安楽な結婚生活を送る専業主婦の私は、ある日、自分の顔が夫の顔とそっくりになっていることに気付く…表題作他3篇短編を収録。

第155回芥川賞



「コンビニ人間」村田沙耶香
2016年 文藝春秋

36歳未婚、コンビニ勤務18年目。コンビニこそが、私を世界の正常な部品にしてくれる。ある日新入り男性に、そんなコンビニ的生き方は恥ずかしいと突きつけられるが…。「普通」とは何か?現代の実存を軽やかに問う衝撃作。

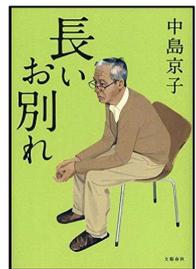
第66回 芸術選奨新人賞



「この世にたやすい仕事はない」津村記久子
2015年 日本経済新聞出版社

燃え尽き症候群のようになって前職を辞めた30代半ばの女性が仕事との健全な関係を取り戻すため踏み出した。1年で5つの異なる仕事を、旅するように巡っていくおかしくて不思議な連作小説。

第5回日本医療小説大賞



「長いお別れ」中島京子
2015年 文藝春秋

妻の名前を言えなくても、顔を見れば安心しきった顔をする。認知症の父親が起こす不測の事態に右往左往する家族のあたたかくて切ない十年の日々。

第32回織田作之助賞



「あの家に暮らす四人の女」三浦しをん
2015年 中央公論新社

鶴代と佐知母娘は、縁あって雪乃、多恵美と同居するようになる。東京郊外の古い洋館を舞台に、四人の女の人生が交差する。

☆文化勲章☆

草間彌生(前衛芸術):「わたし大好き」「無限の網」/草間彌生自伝「他

平岩弓枝(小説):「平岩弓枝自選長篇全集」「絹の道」他

シールアンケートを10月12日～11月13日に実施しました。

ご協力ありがとうございました。

あなたはごどう思いますか？～シールアンケート結果より～

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

自分の上司が女性だと、働きづらい。



「女の子だからおしとやかにしなさい」「男の子だからしっかりしなさい」といわれるのは当たり前だ。



男の子には、女の子よりも勉強をしっかりとしてほしい。



地域の慣習・しきたりは、男性中心でやるものだと思う。



介護・看護は女性のほうがむいている。



男性が育児休業や介護休業をとるのはむずかしい。



問いによって、男女共同参画意識の浸透に差が見られる結果となりました。

図書・資料室には、男女共同参画を考えるための資料や研修・啓発に役立つ教材などをご用意しております。どうぞお気軽にご利用ください♪



12月のG-NETシネマ

12月23日(金) 13:30～ 参加無料&申込不要
「パパは雪だるま」

1998年 アメリカ 吹き替え 101分 監督:トロイ・ミラー

人気バンドの歌手をしているパパが、だれよりも大切なママと小さな息子のチャーリーを残して、突然事故で…。ところが1年後、“雪だるま”に生まれかわったパパ！そして、二人だけのひみつの大冒険がはじまります！

図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9:00～17:00
- 12月の休室日 5日、12日、19日、24日、26日、28日～1月4日
- 貸出 (本・雑誌) 15冊 3週間まで (ビデオ) 2本 1週間まで
- お問い合わせ先(電話)
0748-37-3735 (図書・資料室直通)
0748-37-3751 (センター代表)
- ☆県内在住・在勤・在学の方は、どなたでもご利用いただけます。



♪ひとこと

はやくも年末。師走に入ると気忙しいですね。掃除もしなきゃ、年始の準備も、と落ち着かない気持ちになっていませんか？

図書・資料室には、冬たくをお助けする本や雑誌を展示中。「きょうの料理」「男の食堂」のほか、編み物の本やホームパーティーの本も。絵本で、子どもたちとほっこり楽しむのもおすすめです♪

11/12~25は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。 ひとりで悩まず、まず相談を！



パープルリボン：女性に対する暴力根絶運動のシンボルマーク

『ドメスティック・バイオレンスと民間シェルター被害当事者支援の構築と展開』

小川真理子：著
世織書房 2015年

民間シェルターとは、DV被害者を保護・支援する非営利組織である。施設の特徴からひっそりと運営され、その活動実態はほとんど知られていない。本書は運営や支援、運動、行政との連携などから、民間シェルターの役割と今後の方向性を探っている。



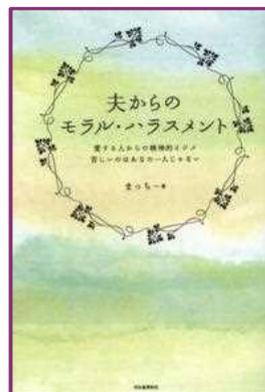
『それ、恋愛じゃなくてDVです』
瀧田信之：著 藤原千尋：構成
WAVE出版 2009年

DVは誰の身にも起こりうる話。まずは気づくためのチェックリスト・実例が相談風にならされています。DVは体への暴力だけではなく、言葉によるものや束縛も含まれます。被害者だけではなく、自分がひどい言葉や暴力をふるっている側になっていないか、考えてみませんか。



『リベンジポルノ
性を拡散させる若者たち』
渡辺真由子：著
弘文堂 2015年

相手の性的な画像や動画を、同意なしに公開・拡散する行為は「リベンジポルノ」と呼ばれる。しかし、責められるのは加害者よりも被害者、という特徴がある。撮らせる若者の思いを解明しなければ、リベンジポルノの被害は食い止められない。



『夫からのモラル・ハラスメント』 まっち～：著
河出書房新社 2014年

被害者だったからこそ書けるモラハラ解決のバイブル！
今日も夫が冷たい視線や言葉に向けてくる…。苦しいとき、つらいときはこの本を手にとってください。

DVを取り扱った小説もあります



「パープルリボン運動」は、1994年、アメリカ・ニューハンプシャー州の小さな町で、近親姦やレイプの被害者によって始められたといわれ、女性に対する暴力の下に身を置いている人々に勇気を与えようとの願いから、布リボンやバッジなどにより「パープルリボン」を広めており、現在では40か国以上に広がっています。



11月23日は

勤労感謝の日です

この日は「ワーク・ライフ・バランス」の日でもあります。

11月は「仕事と生活の調和推進月間」です。



『はたら区カエル野の仲間たち』
こども未来財団 2009年

ワーク・ライフ・バランスを考えるきっかけになる絵本。合言葉は「カエル！ ジャパン」働き方「カエル」と人生「カワル」？！



『ワークライフバランス社会へ』 『ワークライフシナジー』
大沢真知子：著 岩波書店 2006年、2008年

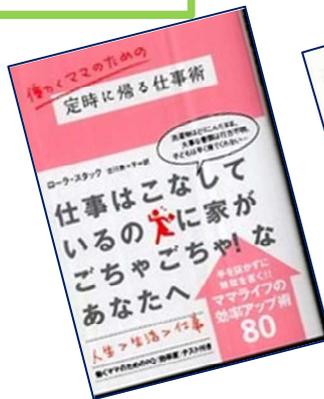
ワークライフバランスを考えることは、日本の社会の在り方を考えること。組織中心の会社や社会ではなく、個人が中心となる社会への変換で企業の生産性もUPしている。



『キャリアも恋も手に入れる、あなたが輝く働き方』
小室淑恵：著

ダイヤモンド社 2008年

仕事とプライベートは対立するものではなく、むしろ両方あきらめないことで、両方がうまくいく。



図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9：00～17：00
- 11月の休室日 4日、7日、14日、21日、24日、28日
- 貸出 (本・雑誌) 15冊 3週間まで (ビデオ) 2本 1週間まで
- お問い合わせ先 (電話)
0748-37-3735 (図書・資料室直通)
0748-37-3751 (センター代表)
☆県内在住・在勤・在学の方は、どなたでもご利用いただけます。



♪ひとこと

昭和61年(1986年)11月「県立婦人センター」として誕生してから、今年で30年になります。

みなさまの学習と交流の場として、これからも新たな出会いを生み出せるよう資料の収集にあたっていききたいと思っておりますので、どうぞよろしくおねがいいたします。

by free vector graphics

女性の視点から 防災を考える本

内閣府「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」の基本的な考え方は次のようになっています。

- ① 平常時からの男女共同参画の推進が防災・復興の基盤となる
- ② 「主体的な担い手」として女性を位置づける
- ③ 災害から受ける影響の男女の違い等に配慮する
- ④ 男女の人権を尊重して安全・安心を確保する
- ⑤ 民間と行政の協働により男女共同参画を推進する
- ⑥ 男女共同参画センターや男女共同参画担当部局の役割を位置づける
- ⑦ 災害時要援護者への対応との連携に留意する



『心のケア 阪神・淡路大震災から東北へ』
加藤寛+最相葉月：著
2011年 講談社
災害や事件・事故が起こるたびに耳にするようになった「心のケア」の活動の実態と、支援者へのメッセージ。



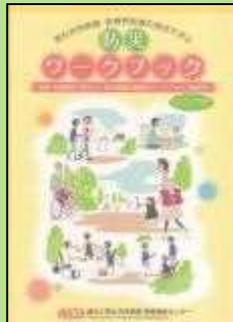
『防災かあさん』
みんなの防災部：著
2015年 羽鳥書店
この本は、いざというときに行動できるお母さんたちを一人でも多く増やすために、東日本大震災を経験した母たちの声から生まれた一冊です。ぜひ防災について家族で話し合う時に参考にしてください。



『子どもと一緒に防災の本 + 防災おやつ&献立レシピ』
坂本廣子：著
2013年 フォーラム・A
日常のあそびに取り入れられる「子どもが自分を守る動き」と、備蓄品をつかったおやつと献立レシピ。がんばらない防災・・・ふつうの暮らしの中で備えているものが、大きな防災の力になるのです。



『女たちが動く』
東日本大震災と男女共同参画視点の支援
みやぎの女性支援を記録する会：編著
2012年 生活思想社
避難所の女性たちは何を求めているのか、男女共同参画の視点から調査した。避難所では、性別役割分担によって女性の視点が失われつつあった。男女共同参画担当者必読。被災女性による被災女性のための支援活動記録。



『男女共同参画・多様性配慮の視点による防災ワークブック』
2015年 減災と男女共同参画研修推進センター：編・発行
地域・支援団体で使える！基本知識の解説とワークショップ教材。チェックシート付。是非ご活用ください。



『女も男も -自立・平等- No.119 春・夏号』
「震災とジェンダー」
2012年 労働教育センター
災害支援・復興政策・防災について、ジェンダー平等の視点から考え、被災地からの報告をもとに、女性たちの声を今後につなげるためにおすすめの一冊です。



『クロスロード・ネクスト』
吉川肇子・矢守克也・杉浦淳吉：著
2009年 ナカニシヤ出版
「クロスロード」とは、十字路。災害対応という活動は、複雑に絡んだ無数の難しい決断を迫られる、まさにクロスロードに立たされることの連続です。そこでカードゲームの形をとって、その時あなたならどうする！を体験し、考える事ができます。

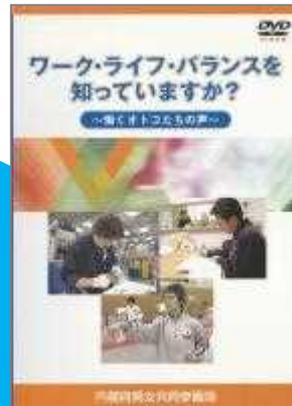


おすすめの男女共同参画に関わるビデオとDVD

図書・資料室ではビデオ（VHS）とDVDも貸出しています。
 お一人 2本まで1週間貸出しできます。どうぞご利用ください。



『安心できる避難所づくり
 ～男女共同参画の視点を避難所運営に～』
 企画:青森県男女共同参画センター
 制作:あおり被災地の地域コミュニ
 ニティ再生支援事業実行委員会
 30分 2013年
 自主防災会や町内会及び災害時に
 支援者となる人たちの「防災教育」の
 一環としてぜひご活用ください。



『ワーク・ライフ・バランス
 を知っていますか？
 ～働くオトコたちの声～』
 企画：内閣府男女共同参画局
 制作：㈱テレパック
 27分 2008年
 ワーク・ライフ・バランス社
 会の実現を目指す企業や、仕事
 と家庭の理想的なバランスを実
 践する人々の姿をドキュメンタ
 リータッチで紹介します。

10月のG-NETシネマ

10月28日(金) 13:30～ 参加無料&申込不要

「アイ・ラヴ・フレンズ」

2001年 日本 113分 監督:大澤豊 主演:忍足亜希子

美しい古都・京都を舞台に、息子と義妹の三人で暮らす夫を亡くしたろう者のカメラマン・美樹。子どもを交通事故で死なせてしまい、罪の意識にさいなまれている青年・柴田。ある日二人は出会い、次第に心を通わせてゆく。

図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9：00～17：00
- 10月の休室日 3日、11日、17日、24日、25日、31日
- 貸出 (本・雑誌) 15冊 3週間まで
(ビデオ) 2本 1週間まで
- お問い合わせ先(電話)
 0748-37-3735 (図書・資料室直通)
 0748-37-3751 (センター代表)
- ☆県内在住・在勤・在学の方は、
 どなたでもご利用いただけます。



♪ひとこと

「^{とうかし}灯火親しむ」という言葉があります。涼しくなった秋の夜長は灯火の下での読書に適している、という意味です。現在では灯火ではなくLEDの下で読書を楽しむといったところでしょうか。10月27日～11月9日は読書週間です。「灯火親しむ」の心で、本と親しんでみてはいかがでしょうか。